

令和6年（2024年）3月7日  
公立学大学法人熊本県立大学

熊本県立大学前理事長 五百旗頭 真氏ご逝去に関する理事長コメント

- 五百旗頭 真様の突然の訃報に接し、大学全体が大きな喪失感に包まれております。安らかな眠りにつかれますよう心からお祈りいたします。
- 五百旗頭様には、平成24年（2012年）4月から平成30年（2018年）3月まで、熊本県立大学第2代理事長としてご尽力いただきました。
- 在任中は、学生一人ひとりに優しく笑顔で接していただきながら、日本政治外交史の第一人者として、その見識や人脈を惜しみなく本学のために注ぎ、新たな大学運営の可能性を示してくださいました。
- また、本学学生はもとより、県民全体の知の向上のため、著名な外交・国際関係者を熊本に招聘し、国際情勢に関するシンポジウムを多数開催されるなど、多大な貢献をいただきました。
- 平成28年（2016年）4月の熊本地震の際は、不安を覚える教職員に対し、阪神淡路大震災でのご自身の被災経験や東日本大震災復興構想会議・議長を務められた見識をもとに、早期の授業再開をはじめ、今後の大学運営の進むべき方向性を明確にお示しいただくなど、強力なリーダーシップを発揮していただきました。
- 退任後も、本学では初の称号授与となる特別栄誉教授として、講演会の開催や大学運営へのご助言等、強力なサポートを継続していただき大変感謝しております。
- 本学では、生前に五百旗頭様からいただいた貴重なご指導、ご助言をしっかりと継承し、地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献できる人材育成に尽力して参ります。

公立学大学法人熊本県立大学  
理事長 白石 隆